



してもらい自分から できる・生かす自分に ~5年生宿泊研修で感じたこと~

校長 田口 利一

5年生4人は、6月15・16日に笠周地区の中野方小学校(14名)恵那北小学校(18名)の同級生と多治見市にある『三の倉市民の森 地球村』で一泊二日の宿泊研修を行いました。

昨年度まで愛知県美浜自然の家で研修を行っていましたが、今年度から、学校から近くの施設で、仲間と協力して取り組む活動を多く取り入れることができる『地球村』で研修することにしました。



地球村 玄関前にて



1日目には、『地球村』の先生の案内で宿泊場所近くの里山を散策しました。木の葉で笛を作ったり、食べられる木の実を教してもらったりしました。自然豊かな笠周地区ですが、はじめての体験に大はしゃぎでした。改めて自分たちの住んでいる町の自然のよさに気づけたのではないかと思います。

夕食はカレーライスです。飯ごう炊さん、カレー作りを協力して行いました。飯ごう炊さんは、飯地小の4人が大活躍でした。昨年、学校で防災の学習を兼ねて行った飯ごう炊さんが役立っていました。

野菜の皮をむいたり、お米を研いだりと、中には初めての子もいたかもしれません。布団をたたむとか、大きな天体望遠鏡で木星を観るとか、地球村での体験は普段の生活にはない体験ばかりだったと思います。初めての仲間との2日間でしたが、活動をするたびに、「さん」と名前と呼ぶようになり、協力して取り組む姿が多くみられました。

どうしても少人数ですので、子どもたちも「先生、次何やるの?」と教師を頼ってしまいます。今の子どもたちは、まわりの人から「してもらいこと」が多いのではないのでしょうか。よりよいひとりだちのために、「してもらい自分から、できる・生かす自分に」ならなくてはいけないと思っています。

今回の地球村研修は、「自分から進んでやる。自分で考えてやる。最後までやり抜く」という勉強ができたと思います。毎日の家庭生活の中でも、学年に応じて、準備したり、片付けたり、「自分でできること」を少しずつ増やしていくことが、子どもの自信につながっていくと思います。



< 6月の活動から >
美文字コンテスト 6/2



美文字コンテストは3年目の取り組みになります。今回は「やさいのなえをうえた。」という文字を鉛筆で書きました。コンテストの時だけでなく、常に丁寧に文字が書けるように指導していきます。

ふれあい花壇 苗植え 6/5



振興事務所東側のふれあい花壇に3・4年生が地域の方と協力して、花の苗植えを行いました。

地球村研修 6/15・16



5年生が中野方小学校、恵那北小学校の5年生と一緒に、多治見市の地球村に行きました。飯盒炊さんやキャンプファイヤーなどを行い、他校の児童と交流しました。

一輪車教室 6/20



今年も元一輪車世界チャンピオンの小山先生を招き、一輪車の実技指導を頂きました。技術だけでなく取り組む心についてもご指導を頂き、新たな目標をもつことができました。

人権の花運動 苗植え式 6/23



恵那市の人権擁護委員さんをお招きし、一緒に花の苗をプランタに植えました。人権擁護委員さんに教えて頂いたり、手伝って頂いたりして交流しました。これからも花の世話を継続しておこない、子どもたちの優しい心も育てていきます。

7月の予定

- 7月5日(水) 笠周地区3校交流会(6年生)
学校評議員会
児童会 七夕集会
10日(月) 教育委員会訪問
13日・14日・18日・19日 個別懇談
20日(木) 大掃除・終業式・学活

